

# 平成26年度決算報告

平成26年度の決算が12月定例議会にて認定されました。今回はその概要を一般会計を中心にお知らせします。

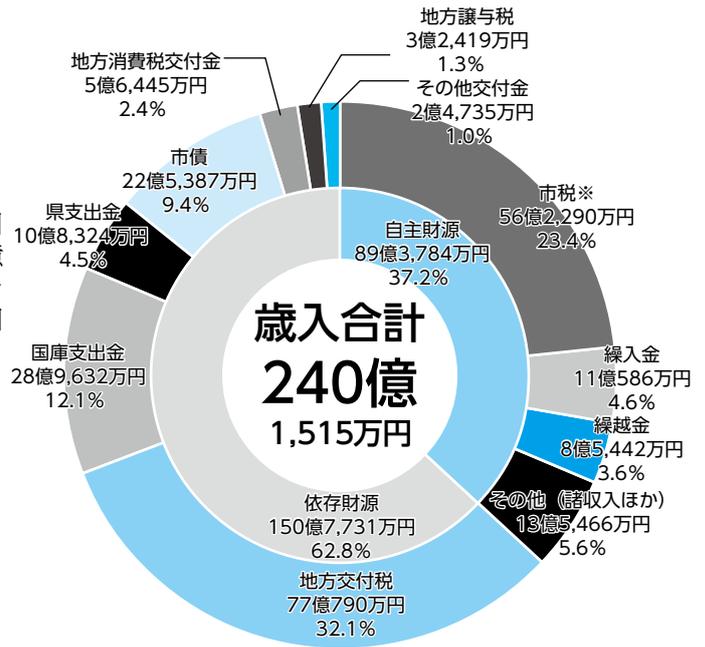
## ○一般会計歳入

歳入合計は240億1,515万円  
前年度に比べ21億7,566万円増加

国からの復興交付金の交付、市債の借入、基金からの繰り入れなどにより前年度に比べ21億7,566万円増えました。国や県に頼った依存財源の歳入は150億7,731万円となり、前年度より13億6,975万円多くなりました。一方、自主財源は前年度より8億6,868万円多くなり89億3,784万円となっています。

※市税の内訳(カッコ内前年度比率)

- ・市民税(個人) 21億5,741万円(△0.2%)
- ・市民税(法人) 4億9,804万円(△6.7%)
- ・固定資産税 24億7,556万円(+1.7%)
- ・軽自動車税 1億2,697万円(+3.2%)
- ・市たばこ税 3億5,934万円(△4.4%)
- ・鉱産税 558万円(+0.6%)



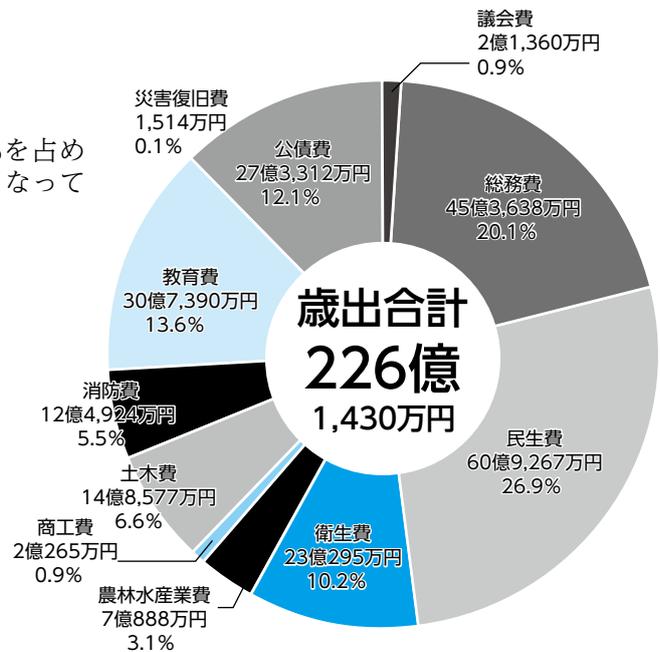
## ○一般会計歳出

歳出合計は226億1,430万円  
前年度に比べ20億8,923万円増加

歳出を費目別で見ると、民生費が全体の26.9%を占めており、続いて総務費20.1%、教育費13.6%の順となっています。

※費目別の主な内容

- 【総務費】
- 基金管理事業 14億 20万円
  - 松尾地域賑わい空間創出事業 4億 159万円
- 【民生費】
- 障害者自立支援事業 7億1,845万円
  - 児童手当支給事業 7億1,198万円
- 【衛生費】
- 山武郡市環境衛生組合負担金 6億6,541万円
  - 地方独立行政法人さむむ医療センター運営事業 3億3,992万円
- 【教育費】
- 小・中学校情報化教育環境整備事業 3億8,836万円
  - 社会体育施設等非構造部材耐震事業 3億6,781万円



性質別歳出(カッコ内前年度比率)

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| ○人件費 38億 443万円(+3.2%)   | ○積立金 14億 3万円(+72.3%)         |
| ○扶助費 29億8,692万円(+6.1%)  | ○投資および出資金・貸付金 4,257万円(+5.2%) |
| ○公債費 27億3,312万円(△2.9%)  | ○繰出金 19億1,513万円(+5.4%)       |
| ○物件費 28億2,571万円(+2.4%)  | ○普通建設事業費 33億2,103万円(+52.1%)  |
| ○維持補修費 1億3,184万円(+7.6%) | ○災害復旧事業費 1,514万円(△57.1%)     |
| ○補助費等 34億3,838万円(+0.1%) |                              |
|                         | 合計226億1,430万円(+10.2%)        |

【用語の解説】

※歳入※

線入金：一般会計、特別会計基金の間で移動するお金  
 地方交付税：どの地方自治体でも定の行政サービスが行えるように国から交付されるお金  
 国庫支出金：市が行う事業に対し、必要に応じて国から交付されるお金  
 市債：公共施設の整備などの資金として借りるお金  
 地方譲与税：国税として徴収された後、市に譲与されるお金(地方揮発油譲与税や自動車重量譲与税など)

※歳出※

扶助費：高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などへの支援に要するお金  
 公債費：市の借入金の返済に係るお金  
 物件費：市の事業に必要な消耗品や備品、委託業務などに要するお金  
 補助費等：部事務組合への負担金や各種団体への補助金など  
 積立金：計画的な財政運営や特定の支出目的のために基金に積立てるお金(市の預金)  
 繰出金：特別会計の事務を補助するため、一般会計から特別会計に支出したお金  
 普通建設事業費：道路や学校の建設など、社会資本整備に要するお金



## ○平成26年度に実施した主な事業



**【小・中学校情報化教育環境整備事業】**  
3億8,836万円  
小中学校全校にタブレット型パソコンを導入しました。



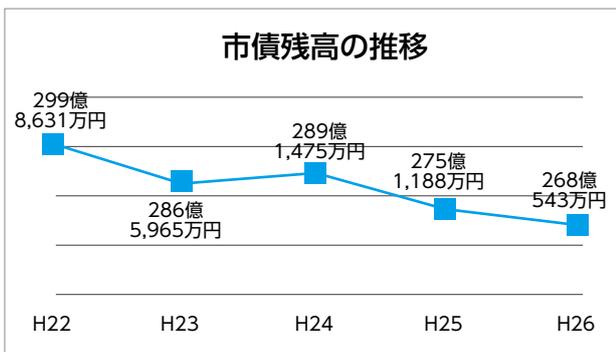
**【社会体育施設等非構造部材耐震事業】**  
3億6,781万円  
蓮沼スポーツプラザおよびさんぶの森中央体育館の耐震化を図りました。



**【松尾地域賑わい空間創出事業】**  
4億159万円（旧松尾庁舎解体費含む）  
（仮称）松尾交流館を建設しました。  
平成27年3月末 工事進捗率 35.1%  
※平成27年10月に「松尾交流センター洗心館」として開館しました。

## ○市債の状況

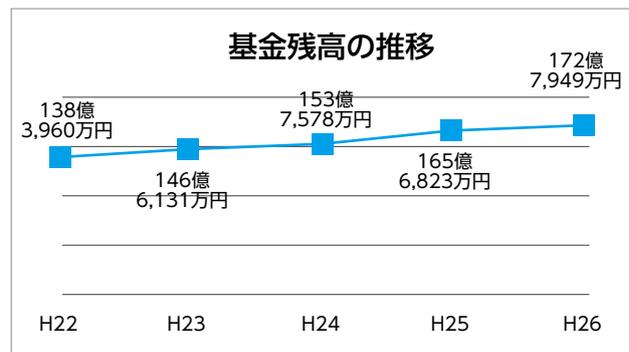
市の借金残高は268億543万円  
前年度に比べ7億646万円減少



市民1人あたりの借金  
49万996円 (△5,071円)

## ○基金の状況

市の預金残高は172億7,949万円  
前年度に比べ7億1,126万円増加



市民1人あたりの預金  
31万6,509円 (+17,767円)

## ○特別会計・公営企業会計の決算

### 特別会計

国民健康保険特別会計（事業勘定）	歳入	85億4,619万円
	歳出	79億3,364万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	歳入	1億5,567万円
	歳出	1億3,908万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	4億1,394万円
	歳出	4億1,159万円
介護保険特別会計	歳入	45億4,143万円
	歳出	44億 482万円
農業集落排水事業特別会計	歳入	2億6,969万円
	歳出	2億6,462万円
組合立国保成東病院事業	歳入	2億4,994万円
清算事務特別会計	歳入	1億6,172万円
地方独立行政法人さんむ医療	歳入	1億3,412万円
センター公債管理特別会計	歳出	1億3,412万円

### 公営企業会計

水道事業会計	収益的収入	4億4,980万円
	収益的支出	3億9,235万円
	資本的収入	511万円
	資本的支出	2億1,387万円

## ○財政健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成26年度決算に係る健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

### 財政健全化判断比率

山武市の財政状況は健全段階にあります。全ての指標で国の定める基準を下回り、良好な状態にあります。

(単位：%)

区分	山武市の比率	早期健全化基準	財政再生比率
実質赤字比率	—	12.82	20.00
連結実質赤字比率	—	17.82	30.00
実質公債費比率	11.7	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

### 資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示します。山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

(単位：%)

会計名	山武市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00
農業集落排水事業特別会計	—	

問 財政課

☎0475(80)1121